



学校だより

天王丘 XII



令和4年2月4日(金)

第 37 号

観音寺市立柞田小学校
発行

学校をよりよくするために ～ 委員会活動 ～



毎月一回、月曜日の六校時は委員会活動を行っています。委員会活動は、学習指導要領でも「集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実せん的な態度を育てる」とあるように、自分たちの手で学校をよりよくする活動です。

本校では、十二の委員会があり、五、六年生がいずれかに所属して活動をしています。この日、保健室では保健委員会が、消毒液の補充や入替、換気呼びかけの放送の練習をしていました。また、図書室では、図書委員会が黙々と、二三が六〇運動の賞品になるメダルの作成に取り組んでいました。また、寒風吹く運動場では、体育委員会が、運動会の杭を運んだり、体育館でボールに空気を補充したりしていました。あいさつ委員会は、毎週金曜日に見童玄閑で挨拶をして全校生を迎えてくれています。今回紹介できなかった委員会も、それぞれ、自分の事に責任をもって取り組んでくれています。

このような委員会の取組などを通して、成長した素晴らしい姿を見童玄閑奥のスペースに「エールプロジェクト」として掲示しています。子どもたちの「良き姿」が常に具体的に見えることで、この姿が広がり、続いていくことを願っています。自分たちの学校を、自分たちの手でどんどん良くしていく、そんな思いが満ち溢れる柞田小学校です。

柞田っ子、「書」をたしなむ



時間割には週1時間、「書写」「書き方」の時間が位置付けられています。この時間、1・2年生は鉛筆で硬筆を、3～6年生は、ほとんどの時間、習字を行うようにしています。

1月のある日、校内を歩いていると、特別教室で教頭先生の指導のもと、4年生が黙々と、座って「書き初め」に挑戦していました。書く姿勢から古来からの風習を取り入れ、一筆一筆、真剣に半紙に向かう姿は、凛としていて、普段とはひと味違う表情を見せていました。

いくら時代が進歩しようとも、手書きの文字には何とも言えない温かみがあります。「書道」となるとさらに味わい深いものになります。過去から現代、そして未来にしっかりと受け継いでいきたい、大切な伝統文化です。



新型コロナへの感染防止対策について ～ 授業での留意点 ～

新型コロナの爆発的な感染拡大に伴い、学校では、国のガイドラインに沿って、また市教育委員会からの指導も参考に、以下のような活動を避けながら、教育活動を展開しています。

- 児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク
- 近距離で一斉に大きな声で話す活動
- 音楽における「室内で児童が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
- 家庭科における「児童同士が近距離で活動する調理実習」